

授業科目名 (英文名)	教育制度論 (Educational Administration)	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	2年次・前期
担当教員	尾崎 公子	所属	環境人間学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>本講義では、現代の学校教育に関する制度的事項について、基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解することを目的とする。また、学校と地域との連携に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的知識も身に付けることを目的とする。</p> <p>本講義の到達目標は、1)公教育の原理及び理念を理解していること、2)公教育制度を構成している教育関係法規を理解していること、3)教育制度を支える教育行政の理念と仕組みを理解していること、4)教育制度をめぐる諸課題について例示することができること、5)地域との連携・協働による学校教育活動の意義及び方法を理解していること、6)地域との連携を基とする開かれた学校づくりが進められている経緯を理解していること、7)学校の管理下で発生する事件、事故及び災害の実情を踏まえ、危機管理や事故対応を含む学校安全の必要性について理解していること、8)生活安全・交通安全・災害安全の各領域や我が国の学校を取り巻く新たな安全上の課題について、安全管理及び安全教育の両面から具体的な取組を理解していること。</p>		
講義内容・授業計画	<p>講義内容 本講義では、公教育制度の成立過程を歴史的に振り返りながら、原理・理念や法的枠組みについて講じていく。また、保護者や地域住民が参画する学校運営の動向や実践例、学校安全に関わる取組を取り上げながら、近年の社会変化に回答できる学校像を探っていく。</p> <p>授業計画 第1回：ガイダンス 本講義の目標・概要説明 第2回：「教育」「学校」についてのブレインストーミング 第3回：公教育制度の成立過程 第4回：公教育制度の原理・理念 第5回：公教育制度の基本法 憲法・教育基本法 第6回：公教育制度の基本法 学校教育法 第7回：教育行財政の仕組み 義務教育費国庫負担制度など 第8回：教育行財政の仕組み 教育委員会制度 第9回：開かれた学校政策 制度：学校評議員、コミュニティスクール 第10回：開かれた学校政策 実践例：学社連携・融合事例など 第11回：教育制度をめぐる諸課題 子どもの貧困 第12回：教育制度をめぐる諸課題 人口減少社会と学校の小規模校化 第13回：教育制度をめぐる諸課題 規制緩和と地方分権 第14回：学校安全への対応 - 危機管理や事故対応 第15回：まとめと評価（到達度の確認）</p>		
テキスト	なし		
参考文献	本図愛美『新・教育の制度と経営』（学事出版） 教員免許状取得希望者は購入が望ましい。		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準 教育に関する制度的事項、学校と地域との連携、学校安全への対応について理解し、説明できる者に単位を授与する。 講義目的・到達目標に記載する知識能力の到達度に応じてSからCまで成績を与える。</p> <p>成績評価の方法 ディスカッションなど受講態度30%、レポート・小テスト70%を基準として総合的に評価する。</p>		
履修上の注意・履修要件	履修にあたっては、新聞等から今日の社会動向の把握に努めること。		

	<p>教職を目指すものとして、『教育六法』等によって講義内容の復習をすること。</p> <p>当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。</p>
実践的教育	該当しない
備考	担当教員は教育政策の研究を行っている。この講義では、担当教員の専門分野である教育学をベースとして、教職を目指す者、子ども政策/地域政策/環境政策を学ぶ者に対する学問的/実践的基礎知識を教授する。詳細は、 http://kyouin.u-hyogo.ac.jp を参照のこと